

財政事情の公表について（公告）

新潟県柏崎市「財政事情」の作成及び公表に関する条例（昭和23年条例第13号）及び新潟県柏崎市公営企業の設置等に関する条例（昭和41年条例第42号）の規定に基づき、令和元年（2019年）10月1日から令和2年（2020年）3月31日までの期間における財政事情及び公営企業の業務の状況を別紙のとおり公表する。

令和2年（2020年）6月1日

柏崎市副市長 西 巻 康 之

令和元年度（2019年度）下半期（10月～3月）の財政事情

●各会計別予算の執行状況

区 分 会 計 名		予 算 の 状 況	収入の状況【A】	支出の状況【B】	差 引	
		10月以降の補正額	10月以降の収入額	10月以降の支出額	【A】－【B】	
		最終予算額	3月末収入済額	3月末支出済額		
一 般 会 計		6億7,897万円	220億6,273万円	210億1,125万円	10億5,148万円	
		496億1,819万円	413億9,015万円	390億6,463万円	23億2,551万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業 （事業勘定）	1億8,142万円	42億2,217万円	45億5,952万円	△3億3,734万円	
		89億3,281万円	77億189万円	78億1,322万円	△1億1,133万円	
	国民健康保険事業 （直営診療施設勘定）	△2,371万円	8,069万円	1億6,520万円	△8,451万円	
		3億5,738万円	1億3,549万円	3億1,186万円	△1億7,637万円	
	土 地 取 得 事 業	3,092万円	△2,654万円	1億7,064万円	△1億9,719万円	
		3億3,897万円	1億9,209万円	1億9,209万円	0万円	
	墓 園 事 業	351万円	750万円	2,360万円	△1,610万円	
		3,284万円	3,391万円	3,023万円	368万円	
	介 護 保 険	△3億6,979万円	37億6,800万円	45億4,740万円	△7億7,940万円	
		91億4,121万円	76億4,338万円	82億4,430万円	△6億92万円	
	後 期 高 齢 者 医 療	△202万円	5億1,889万円	5億5,236万円	△3,348万円	
		9億4,301万円	8億5,163万円	9億2,168万円	△7,005万円	
	合 計		4億9,930万円	306億3,343万円	310億2,997万円	△39億6,540万円
			693億6,442万円	579億4,854万円	565億7,801万円	13億7,053万円

※端数整理の関係で、合計・差引が計算と合わない場合があります。

●一般会計の概要

当初予算476億円でスタートした令和元年度（2019年度）の一般会計は、9月までの補正予算で5億4,531万円を増額し、その後3月までの補正予算で6億7,897万円を増額しましたので、平成30年度（2018年度）からの繰越事業費7億9,392万円を含めた最終予算額は、496億1,819万円となりました。

令和2年（2020年）3月末までの実際の収入（収入済額）は413億9,015万円で、最終予算額に対する割合は83.4%になっています。一方、実際の支出（支出済額）は390億6,463万円で、最終予算額に対する割合（執行率）は78.7%となっています。

●市税負担の状況

一般会計歳入予算のうち、市民の皆さまに負担していただく市民税や固定資産税などの市税は、153億7,746万円で、歳入全体の31.0%を占めており、市政運営のための大切な財源になっています。令和2年（2020年）3月末までに市民の皆さんから納めていただいた収入済額は、153億2,114万円（10月以降は、65億4,158万円）となっています。

	1人当たり	1世帯当たり
現計予算額 （496億1,819万円）	603,011円	1,426,425円
市税負担額 （153億7,746万円）	186,883円	442,071円

（令和2年（2020年）3月末現在 人口：82,284人、世帯数：34,785世帯）

●財産の状況

主な市有財産の3月末現在の残高等は、次のとおりです。

	3月末の残高等	備 考	
		行政財産	普通財産
土 地	1,945万0,297㎡	1,093万2,678㎡	851万7,619㎡
建 物	43万4,040㎡	42万 512㎡	1万3,529㎡
有価証券	5,229万円		
出 資 金	3億5,889万円		
基 金	184億3,785万円	1人当たり	1世帯当たり
		224,076円	530,052円

(令和2年(2020年)3月末現在 人口:82,284人、世帯数:34,785世帯)

※端数整理の関係で、合計が計算と合わない場合があります。

※基金とは、特定の目的のために積み立てる貯金のようなものです。

●市債の状況

主に建設的な事業を行うときに、国や金融機関などから借り入れる資金を「市債」といいます。これは、「公債費」として長期にわたって返済していきます。一般会計における令和元年度(2019年度)年度下半期(10月から3月まで)の借入額は、42億8,079万円です。また、32億901万円(元金30億7,139万円、利子1億3,761万円)を市債の返済のために公債費として支出しました。

3月末現在における借入残高は、次のとおりです。

会 計 名	3月末現在の借入残高	1人当たり	1世帯当たり
一 般 会 計	484億7,190万円	589,080円	1,393,471円

(令和2年(2020年)3月末現在 人口:82,284人、世帯数:34,785世帯)

●一時借入金の状況

年度途中では、支出に充てる資金が不足することがあります。このような資金不足の場合に、銀行などから一時的に借り入れて、年度内に返済するものを「一時借入金」といいます。令和元年度(2019年度)下半期(10月から翌年3月まで)における一時借入金は、ありません。

また、一時借入金のほかに市が持つ基金を一時的に支払資金などに融通すること(これを「基金の繰替運用」といいます。)により資金不足を補っています。

公営企業の業務の状況

公営企業は、市町村などが企業として独立採算を原則として経営する事業であり、経営の主な財源は皆さまからいただく料金、使用料によって賄われております。当市の場合は、水道・工業用水道・下水道事業がこれに当たります。

令和元年度（2019年度）における各事業の業務の状況は、次のとおりです。

●有収水量・使用量の状況

	有収水量・使用量	前年度比
水道有収水量	1,117万 ³ m	1.9%減
工業用水道有収水量	2万 ³ m	7.1%増
下水道使用量	874万 ³ m	1.7%減

●経理の状況

【水道事業】

(令和2年(2020年)3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科目	水道	科目	水道
固定資産	422億1,570万円	企業債	153億683万円
現金・預金	30億2,027万円	引当金	9億344万円
未収金	1億8,169万円	未払金	7億9,963万円
貸倒引当金	△67万円	前受金	414万円
貯蔵品	1,250万円	預り金	5,433万円
前払金	2,310万円	預り有価証券	200万円
保管有価証券	200万円	長期前受金	278億5,227万円
		収益化累計額	△143億8,846万円
		資本金	139億2,460万円
		資本剰余金	3,074万円
		利益剰余金	9億6,507万円
合計	454億5,459万円	合計	454億5,459万円

【工業用水道事業】

(令和2年(2020年)3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科目	工業用水道	科目	工業用水道
固定資産	1億7,209万円	引当金	142万円
現金・預金	2,217万円	未払金	429万円
未収金	8万円	長期前受金	3億3,591万円
		収益化累計額	△2億9,619万円
		資本剰余金	1億3,329万円
		利益剰余金	1,562万円
合計	1億9,434万円	合計	1億9,434万円

【下水道事業】

(令和2年(2020年)3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	下 水 道	科 目	下 水 道
固 定 資 産	906億7,219万円	企 業 債	278億3,106万円
現 金 ・ 預 金	21億3,785万円	引 当 金	8億7,396万円
未 収 金	8,472万円	未 払 金	6億3,794万円
貸 倒 引 当 金	△49万円	預 り 金	2,216万円
保 管 有 価 証 券	200万円	預 り 有 価 証 券	200万円
		長 期 前 受 金	782億 671万円
		収 益 化 累 計 額	△258億7,070万円
		資 本 金	48億6,997万円
		資 本 剰 余 金	52億8,200万円
		利 益 剰 余 金	10億4,117万円
合 計	928億9,627万円	合 計	928億9,627万円

●令和2年度（2020年度）予算の概要

○予算の総額

水道事業	収益的収入	31億1,437万円	収益的支出	30億1,845万円
	資本的収入	16億1,911万円	資本的支出	25億9,752万円
	差引不足額9億7,841万円は損益勘定留保資金等で補填			
工業用水道事業	収益的収入	1,348万円	収益的支出	1,348万円
	資本的収入	—	資本的支出	—
下水道事業	収益的収入	54億5,177万円	収益的支出	54億4,498万円
	資本的収入	20億231万円	資本的支出	39億410万円
	差引不足額19億179万円は損益勘定留保資金等で補填			

○予算の内容

水道事業	給水収益	22億4,020万円	職員給与費	3億7,174万円
	受注工事収益	1,056万円	修繕費	1億7,559万円
	その他営業雑収益	4,498万円	委託費	3億5,916万円
	他会計補助金	2億1,054万円	固定資産除却費	3,994万円
	企業債	14億1,100万円	減価償却費	17億250万円
	工事負担金	9,108万円	受注工事費	2,164万円
	他会計負担金	1,420万円	建設改良費	17億7,446万円
	出資金	5,282万円	企業債償還金	8億2,306万円
	国庫補助金	5,000万円	企業債支払利息	2億4,325万円
	長期前受金戻入	5億6,694万円	その他の経費	1億463万円
	その他	4,116万円		

工業用水道事業	給水収益	90万円	職員給与費	64万円
	他会計補助金	832万円	修繕費	500万円
	長期前受金戻入	397万円	委託費	138万円
	その他	29万円	減価償却費	398万円
			その他	248万円

下水道事業	下水道使用料	14億4,201万円	職員給与費	2億4,122万円
	雨水負担金	4億1,171万円	修繕費	1億6,662万円
	他会計補助金	17億148万円	委託費	5億4,220万円
	企業債	12億2,195万円	固定資産除却費	4億7,036万円
	受益者負担金	2,164万円	減価償却費	33億20万円
	工事負担金	3,350万円	建設改良費	11億8,175万円
	出資金	3,520万円	企業債償還金	27億2,236万円
	国庫補助金	4億1,230万円	企業債支払利息	4億5,257万円
	県補助金	1,615万円	その他の経費	2億7,180万円
	長期前受金戻入	21億3,158万円		
	その他	2,656万円		